

Course Title 科目名	[Special Topic] Tour d'horizon of international affairs through English [特殊講義] 英書講読 I			Instructor 担当者	TAKASHIBA, Yukiko 高柴 優貴子		
Semester 学期	Spring	Language of Instruction 使用言語	JAP 日	Credits 単位	2	hrs/wks 時間数/週	2
<b>【Course Objectives: 授業の到達目標】</b>							
<p>①【国際法・政治学を中心とする専門教育に必要な英語力を自律的に学習する力の習得】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会・国際法を理解するにあたり必須の背景知識や、グローバル社会で活躍するために必要となる考え方を習得するため、国際情勢に関する題材を用いながら、インプット・アウトプット双方において、いわゆる「国内目線」からの脱却を目指す。</li> </ul> <p>②【「高校までの英語」からの脱却】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語より主語・目的語が明確で、動詞の重要度が高い英語の語法に親しむことで、日英問わず、文章にして表現する力を身につけることを意識する。</li> <li>・文章の構造に気を配ることで、要点を要約する力をつける。</li> <li>・抑揚の少ない日本語のトーンから、抑揚の多い英語のトーンに意識的に切り替える。(適宜英語劇などを通じ、身体を使って英語の発声や抑揚を身につける練習を行う。)</li> </ul> <p>③【英語を題材にした小人数教育の特色を生かした、他者と協働しながら学ぶ姿勢の体得】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期間を通じた事前学習やペア・グループでの協力を通じ、今後の大学生活の基礎を成す</li> </ul> <p>①"Dare to be different" という在り方、</p> <p>②他者と関わりながら「学び合うコミュニティ」の作り方の体得を目指す。</p>							
<b>【Course Summary: 授業の概要】</b>							
<p>初回:オリエンテーション(進め方・評価方法について詳しく説明するので必ず出席すること)</p> <p>1) 自律的に英語を学ぶために必要なポイントの解説</p> <p>2) 「準備 (preparation)」「参加 (participation)」「発表 (presentation)」の発想の転換</p> <p>第2回-第9回、第11回-第14回:</p> <p>1. 【グループ】グループでテキストの題材の背景を調べ、疑問点を整理する。</p> <p>2. 【各自】英→日 様々な英文テキストの読解を通じた「要約力」・「パラグラフライティング」・「発表」の訓練(辞書の正しい使い方・「ノート作り」の徹底)</p> <p>第8回: Back To Books Festival 初回に配布する本のリストに基づきプレゼンテーション大会を行う。</p> <p>第13回: (パンデミックの状況に応じ)身体を使った英語の体得発表会</p> <p>第14回: 各自作成したpodcastに基づくディスカッション</p> <p>なお、遠隔授業を行う場合は、オンデマンド・コンテンツに同時双方向テレビ会議システムを組み合わせた型とする。</p>							
<b>【Study Required outside Class (Preparation etc): 事前・事後学習】</b>							
<p>【各自】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自テキストの毎回の予習と疑問点の整理。必ず課題全体を準備の上授業に臨むこと。</li> <li>・BTBF(学期半ば)/podcast(学期末)の準備</li> </ul> <p>【グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題となる題材の背景を調べ、授業当日のディスカッションの参加準備</li> <li>・英語劇(形態はパンデミック状況による)の準備</li> </ul>							
<b>【Class Outline: 授業計画(各回の授業内容)】</b>							
Session 1	オリエンテーション・課題の説明						
Session 2	①[グループワーク]と②[各自のトレーニング]の実践						
Session 3	①と②の実践						
Session 4	①と②の実践						
Session 5	①と②の実践						
Session 6	①と②の実践						
Session 7	①と②の実践						
Session 8	①と②の実践						
Session 9	Back to Books Festival						
Session 10	①と②の実践						
Session 11	①と②の実践						
Session 12	①と②の実践						
Session 13	①と②の実践						
Session 14	①と②の実践						
<b>【Required Textbooks and Course Materials: 教科書(購入必須)】</b>							
<b>【Recommended Textbooks and Course Materials: 参考図書】</b>							
Moodleにて指示する。							
<b>【Grading Criteria: 成績評価の方法】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の課題の準備、授業中の議論 55%</li> <li>・Back To Books Festival 15%</li> <li>・podcast作成 15%</li> <li>・英語劇などの発表 15%</li> </ul> <p>詳細について初回に説明する。</p>							
<b>【Note: 履修上の注意】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自筋道立てて発言できるように、毎回相当の準備をして臨むこと。</li> <li>・academic integrityを意識すること(授業で説明する)</li> <li>・欠席届は学生課が定める追試験の諸事由に該当し、かつ関連書類が提出された場合のみ考慮する。3回以上の欠席の場合は単位が認められない。</li> </ul>							